



御幸が原小・学校だより

考える葦

第11号

令和5年3月24日発行
発行者 廻谷 敦士

1日の最高気温が20度に迫る陽気に、校庭の桜のつぼみも膨らみ、3月21日(火)に、例年よりも早く開花が確認されました。別れと出会いの季節である春がやってきました。16日(木)、小学校6年間の締めくくりとなる卒業式が無事終了し、68名の6年生がこの御幸が原小学校を巣立っていきました。そして今日24日(木)、1年生から5年生に各担任から修了証が手渡されました。



3月の校舎

3月は、1年間のまとめの月であると同時に、卒業式に向かって学校全体がスクラムを組んで進んでいく月です。子供たちは、1年を振り返り自分自身の頑張りを確認するとともに、6年生のために感謝の気持ちを込めて様々な活動をする中で、この節目である3月に大きく成長しました。

4月からは新たなステージがスタートします。子供たちにとって有意義な1年となるよう、職員一同一丸となって、令和5年度に向けての準備を進めてまいりたいと思います。

保護者の皆様には、1年間、本校教育にご理解ご協力をいただき、心より深く感謝申し上げます。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症第7・8波による感染急拡大もあり、昨年度に引き続き、緊急下校や学年・学級休業への対応、行事等の変更などを余儀なくされた1年でしたが、皆様のご協力により、無事に令和4年度の全教



育活動を終了することができました。4月10日(月)より、令和5年度がスタートします。短い春休みではありますが、お子様のこの1年間の頑張りを家族みんなで振り返り、自信と意欲をもって新たな学年のスタートが切れますよう、認め励ましていただけましたら幸いです。1年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。

旅立ちの儀式 卒業式

16日(木)、令和4年度卒業式が挙行されました。昨年度は新型コロナウイルス感染症のため、卒業生と保護者、教職員、PTA会長様のみ参加での実施でしたが、今年度は新型コロナも収束の兆しが見え始めたことから、在校生を代表して5年生が参加するとともに、来賓として教育委員会様、宇都宮市議会議長様のご臨席をいただき実施することができました。6年間の温かい思い出と中学校への期待・希望を胸に、68名の卒業生が巣立っていきました。



歓送の会



10日(金) 6年生奉仕作業

卒業を前に、6年間お世話になった校舎をきれいにする、6年生奉仕作業が実施されました。5、6校時に、廊下や階段、昇降口、花壇や一輪車倉庫など、汚れがたまっていたり普段手が届かなかつたりするところを中心に清掃を行いました。真剣なまなざしで作業に向かう姿に、頼れる最上級生の風格が感じられるとともに、活動の合間に見せる感慨深そうな表情に、卒業という節目に向けた気持ちの高まりも感じられました。



卒業に向けて(感謝のメッセージ)



1-1



1-2



2-1



2-2



3-1



3-2



4-1

3月は、学校全体が6年生の卒業に向けて動く月。学校だより第10号では、2月に実施された卒業制作「ふくべ細工」と「6年生を送る会」の様子をお知らせしましたが、ここでは、在校生から6年生に、そして、6年生から在校生に送られた一人一人のメッセージ入りの掲示物を紹介します。クラスごとに工夫され、子供たち一人一人の思いが込められた素敵な掲示物が完成し、6年教室前の廊下と1階の掲示板に掲示され、卒業式に向けて子供たちの気持ちを盛り上げてくれました。卒業式当日には、体育館に飾られ、卒業生の晴れ姿を見守ってくれました。



5-1



4-2



6-1



6-2



5-2

みはらスタンプラリー

2月27日(月)～3月1日(水)の3日間、運動委員会主催による「みはらスタンプラリー」が実施されました。子供たちは、マッチョマンカードゲットを目指して、運動委員会の5・6年生が企画した8種類のゲームに挑戦し、楽しい時間を過ごしていました。



受け継がれるバトン

卒業式を翌日に控えた15日(水)、5年生が特別清掃と卒業式準備を実施しました。1月以降、さまざまな場面で6年生の役割を少しずつ引き継ぎながら、6年生を送る会企画運営など、6年生の卒業に向けて中心となって活躍しています。卒業式当日も在校生の代表として大変立派な態度で式に参加していました。御幸が原小学校のリーダーとしてのバトンをしっかりと受け取った5年生。4月からは、最上級生として、下級生のすばらしいお手本となって活躍してくれることを期待しています。

